指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名：　求菩提資料館

２　指 定 管 理 者 名：　豊前市

３　指　定　期　間：　令和6年4月1日～令和11年3月31日

４　施 設 設 置 目 的：　求菩提山修験道に関する資料の収集、保存及び展示

５　管理運営についての点検結果（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

（１）点　検　方　法：　事業報告書、現地確認、ヒアリング等をもとに指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果：　別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	・史跡「求菩提山」及び重要文化的景観「求菩提の農村景観」を中心とした修験道関係遺跡に関する資料の収集、保存、展示という館の設置目的に沿った管理運営を行う。	・史跡「求菩提山」の修験道文化を紹介する施設として展示、保存、調査及び教育普及に努めている。 また、資料の保存については、盗難、災害などからこれらを守るため万全のセキュリティ体制をとるべく、警備会社とも協議して適切な方法で行っている。
②施設利用及びサービス向上	・常設展示の他、企画展などを行う。 ・市民歴史講座（年5回）を実施する。	・年間の事業計画に基づいて調査、教育普及活動などを行っている。その方策として、HPによる情報発信、案内表示の設置、各種団体からの求めに応じて講演や展示解説などを積極的に行っている。 ・企画展：春の企画展「セピア色の風景～昔の絵葉書～」＆「織～小田原健吾作品展」を開催した。 ・児童生徒向けに夏のミニ企画展「夏休み 日本のお金　世界のお金」を実施した。 ・九州歴史資料館三分館合同企画展「野田演吉が撮った沖端」を開催した。 ・秋の企画展「昭和の時代」を開催した。 ・入館者数6,738人（対前年度比：87.6% R6年度7,688人）（対R1年度比30.3% R1年度22,231人） ・高齢者や障がいのある方に対しては、必要に応じて職員が対応している。
③経営（収支）改善	・報酬等、人件費の抑制に努める。 ・需用費等の支出軽減に努める。	・委託料実績　9,884千円（対前年度比：102.5% R6年度9,642千円）（対R1年度比119.7% R1年度8,254千円） ・地元ボランティアとの協働及び経費の抑制に努めている。
④職員確保方策及び健全な財政基盤	・館の運営に必要な専門的知識を有する職員の確保に努める。 ・史跡ボランティアの育成と活用に努める。	・豊前市生涯学習課兼務職員1名（館長）、学芸員1名、事務職員2名を配置。 ・企画展等の開催時は多くの入館者に対応するため、地元ボランティアに協力を求めた。 ・史跡ガイドボランティアの月例会（毎月第３土曜日）で行われる学習会に学芸員が参加し、ボランティアの育成を図っている。
⑤施設管理上の個別事項	・現状の設備の中で文化財の適切な保存に努める。	・文化財の保存のために除湿機を活用するなど、適切に対応している。 ・展示ケース等の照明を計画的に取り替えている。 ・消防施設、エレベーターなど、点検が必要なものについては法令を遵守し対応を行っている。 ・災害時には危機管理体制に従い適切な対応ができるよう、確認を行っている。

②点検結果

- □ Ａ＋　（提案内容を上回った）
- □ Ａ　（提案内容をやや上回った）
- ○ Ｂ　（概ね提案内容どおり）
- □ Ｃ　（提案内容をやや下回った）
- □ Ｄ　（提案内容を下回った）

【総合コメント】

地元住民を対象とした歴史講座の開催など、住民が地域の文化を学び、郷土愛を育む教育機関として活用されている。
史跡ガイドボランティアによる重要文化的景観「求菩提の農村景観」及び国史跡「求菩提山」のガイドが実施されており、協働することで当館が文化財活用の拠点施設としての役割を担っている。
季節ごとの企画展や地元の特長を活かした講座の開催など、年間を通して人を呼び込むための魅力ある館の運営に努めたが、猛暑や資料館に続く県道が工事に入った影響等により、入館者数は前年に比べて低い数値である。